

公会計事業別財務書類分析シート

事業類型： 固定資産整備型

決算対象年度： 令和元年度 対象年月： 令和 2年 3月
 会計： 水源環境保全・再生事業会計
 局： 環境農政局
 所属： 環境農政局水源環境保全課（直通 045-210-4352）
 公会計事業： 水源環境事業（水源）

1 主な事業内容

・地域における水源の保全を図るため市町村が取り組む水源林整備の取組を支援する。
 ・水源として利用している河川等において、自然浄化や水循環の機能を高めるための環境整備に取り組む市町村を支援する。
 ・水源林整備事業の実施等により、荒廃した私有林の森林整備を実施する。

2 行政コスト及び純資産変動計算書

(単位：千円)

科目	H29決算	H30決算	R01決算	H29-H30増減率	H30-R01増減率
経常費用	3,053,473	2,969,266	3,226,802	△2.8%	8.7%
人件費	2,520	2,687	18,903	6.6%	603.5%
物件費等 ※	975,616	817,796	927,155	△16.2%	13.4%
物件費	924,939	678,365	728,007	△26.7%	7.3%
維持補修費	8,348	102,001	170,538	1,121.8%	67.2%
減価償却費	-	-	-	-	-
移転費用 ※	2,075,337	2,148,783	2,280,745	3.5%	6.1%
補助金等	2,068,431	2,139,739	2,280,745	3.4%	6.6%
社会保障給付	-	-	-	-	-
経常収益	1,235	2,524	3,414	104.4%	35.3%
使用料・手数料	-	-	-	-	-
その他	1,235	2,524	3,414	104.4%	35.3%
純経常行政コスト(経常収益－経常費用) ①	△ 3,052,239	△ 2,966,742	△ 3,223,389	2.8%	△8.7%
臨時損失	5	-	-	皆減	-
臨時利益	-	-	-	-	-
純行政コスト(①－臨時損失＋臨時利益)	△ 3,052,244	△ 2,966,742	△ 3,223,389	2.8%	△8.7%
財源	4,081,800	4,152,423	4,241,945	1.7%	2.2%
税収等	4,081,800	4,152,423	4,241,945	1.7%	2.2%
国等補助金	-	-	-	-	-
本年度差額	1,029,556	1,185,681	1,018,556	15.2%	△14.1%
一般財源充当調整額	46,515	△ 43,826	62,874	△194.2%	243.5%

(注) ※印の下位科目は、内訳を抜粋しているため、合計が一致しない場合がある。

3 貸借対照表

(単位：千円)

科目	H30決算	R01決算	増減率	科目	H30決算	R01決算	増減率
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	1,035,044	1,093,145	5.6%	固定負債	-	-	-
有形固定資産	64,515	87,622	35.8%	県債	-	-	-
事業用資産	64,515	86,471	34.0%	長期未払金	-	-	-
土地	64,456	86,412	34.1%	退職手当引当金	-	-	-
建物	-	-	-	損失補償等引当金	-	-	-
建物減価償却累計額	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
工作物	-	-	-	流動負債	-	-	-
工作物減価償却累計額	-	-	-	県債	-	-	-
その他	59	59	0.0%	未払金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	賞与等引当金	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	預り金	-	-	-
土地	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
建物	-	-	-				
建物減価償却累計額	-	-	-				
工作物	-	-	-				
工作物減価償却累計額	-	-	-				
その他	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
物品	0	1,151	10,000以上				
無形固定資産	3,503	3,503	0.0%	負債合計	-	-	-
投資その他の資産	967,027	1,002,021	3.6%	純資産合計	1,067,986	1,175,072	10.0%
流動資産	32,942	81,926	148.7%	負債及び純資産合計	1,067,986	1,175,072	10.0%
資産合計	1,067,986	1,175,072	10.0%				

(注) 負債の部における未払費用、前受金、前受費用は、その他流動負債に含む。

4 事業分析

① 行政コスト計算書及び純資産変動計算書(経常費用の経年比較)

主な増減(H30-R01の比較)は、維持補修費が68.5百万円(67.2%)増加しています。要因としては、台風19号被害の応急復旧による増のためです。

② 貸借対照表(資産の部)

R01決算の内訳は、投資その他の資産が10.0億円で、資産の85.3%を占めています。そのほか、土地が0.9億円となっています。

③ 貸借対照表(負債の部)

④ 貸借対照表(純資産合計)

R01決算では、資産合計11.8億円と同額が純資産合計となり、純資産比率(純資産合計/資産合計)は100%です。

⑤ 貸借対照表(資産の経年比較)

主な増減(H30-R01の比較)は、流動資産が0.5億円(148.7%)増加しています。これは、繰越額の増により現金預金が増えたためです。

(注1) ②の分析のうち「建物」「工作物」「建設仮勘定」は、事業用資産及びインフラ資産を合算した上で、それぞれ減価償却累計額がある場合はその金額を控除しています。

(注2) ③の分析のうち、「県債」は、固定負債と流動負債を合算した金額です。

(注3) 他の公会計事業で保有する財産や、国、市町村が保有する財産を整備・修繕するために発行した「県債」や「人件費(退職手当引当金等)」が計上されていることなどにより、資産の計上がない、純資産合計がマイナスとなる場合があります。